

令和5年度

四万十町を元気にする 地域ビジネスアイデアを ゼロから作るワークショップ

第一回 ビジュアルレポート

作成：

高知大学 地域協働学部 コミュニティデザイン研究室



- **日時** : 令和5年9月23日 (土) 13:00~18:25
- **会場** : 四万十町 農村環境改善センター 2階 大会議室
- **主催** : 四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- **実施内容** : ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題解決に取り組む「地域ビジネス (コミュニティビジネス)」に注目が集まっている。まちづくりや地域観光、教育、福祉、子育て、6次産業、商品開発など、地域の多様な資源を活かしながら目の前にある様々な困りごとや課題の解決を目指す、地域ビジネスのアイデアを事業にするための一連のプロセスをワークショップ形式で体感しながら学んでいく。

【タイムライン】

Time	Theme
13:00-13:20	チェックイン
13:20-14:40	ワーク：自己理解&関係形成ワークショップ 地域ビジネスとは 地域ビジネスのポイント
14:40-16:10	ワーク：関心理解ワークショップ 課題の見つけ方
16:10-17:10	ワーク：課題発見ワークショップ
17:10-18:25	ワーク：アイデアづくりワークショップ

四万十町を元気にする

地域ビジネスアイデアを ゼロからつくるワークショップ

「地域課題をビジネスの力で解決する」
「地域資源を活かした商品やサービスをつくりたい」
「自分らしく地域で仕事をしたい」



ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題解決に取り組む「地域ビジネス（コミュニティビジネス）」に注目が集まっています。

本講座では、まちづくりや地域観光、教育、福祉、子育て、6次産業、商品開発など、地域の多様な資源を活かしながら

目の前にある様々な困りごとや課題の解決を目指す地域ビジネスのアイデアを事業にするための一連のプロセスをワークショップ形式で体感しながら学んでいきます。

託児
あります！
・
参加費無料

本講座の特徴

- ✓ 地域ビジネスの基本的な考え方をゼロから学べます
- ✓ ワークショップを通じて地域ビジネスの事業アイデアを具現化していきます
- ✓ 受講生同士が対話を通じてそれぞれの想いやアイデアを具体化していきます

対象

- ✓ 四万十町を拠点に地域ビジネスで起業したい方
- ✓ 自分の好きなことや大切な想いを形にしたい方
- ✓ 新しい働き方・まちづくりに関心のある方
- ✓ 自ら運営する NPO・地域団体等の活動や事業をブラッシュアップしたい方
- ✓ 地域の未来に想いのある人とつながって地域を盛り上げていきたい方 など

日程・内容

第1回

9/23(土)
13:00-18:00

地域ビジネスの
始め方を学ぶ

第2回

10/21(土)
13:00-18:00

顧客と課題を定義し、
アイデアをカタチにし、
テストする

第3回

11/18(土)
13:00-18:00

ビジネスモデルの
構築と実現に向けた
アクションプランを
策定する

主催：四万十町
協力：高知大学地域協働学部 コミュニティデザイン研究室

プログラム

第1回
「地域ビジネスの始め方を学ぶ」
—自分の想いと地域課題を見つけ、
課題解決に向けたアイデアを描く—

地域ビジネスは、一人ひとりの強い想い（原体験、好き・嫌い）の存在と、身の回りにある困りごとや悩み事、解決したい地域課題を特定することが大事になります。ここでは、自分の好き嫌いを見つめ直し、身の回りにある地域の課題を洗い出し、それらを起点に取り組んでみたい地域ビジネスのアイデアの描き方を学びます。

第2回
「顧客と課題を定義し、
アイデアをカタチにし、テストする」
—ユーザーリサーチの方法を学ぶ—

自分たちが救いたい顧客（ペルソナ）は誰なのかを具体化し、その顧客がまだ気づいていない本当に解決してほしい潜在的な課題を特定するための方法を学びます。そのうえで、第1回で描いたアイデアの修正を行い、必要最低限の要件を備えた試作品（プロトタイプ）を作成し、アイデアの検証に向けた確認事項を明らかにしていきます。

第3回
「ビジネスモデルの構築と実現に向けたアクションプランを策定する」
—持続可能なビジネスモデルを設計し、協力体制を築く—

持続可能な事業として展開できる「ビジネスモデル＝誰に何を提供し、どうお金得るか」を構築し、図解します。そのうえで、実現に向けたアクションプランを考え、地域の人、組織とどのような協力を引き出すことが必要か整理していきます。

募集概要

- 募集人員：10名
- 受講料：無料
- 申込方法：
右下の QR コードを読み込んで申込フォームから応募いただくか、お電話・メールにて **9月14日(木) 正午**までに事務局にお申し込みください。

- 場所：
第1回：四万十町農村環境改善センター 2階 大会議室（高岡郡四万十町榊山町3-7）
※第2回以降は、お申し込みいただいた方のみにも通知いたします。

- 特典：
・地域ビジネスに関する基本的考え方をまとめたオリジナルテキスト『地域ビジネス実践ガイド』をプレゼント

- 注意点：
・全3回、出席できる方を優先します
・講座は受講生同士の対話や、グループワークを中心に進めていきます
・講座と講座の間にチームでフィールドワークやインタビュー等を行う場合があります
・ご自身に明確なアイデアがない方でも大丈夫です
・最終回には、事業アイデアをポスター等に取りまとめて発表します

お申し込みは
こちらから



運営・進行

須藤 順 氏

（高知大学地域協働学部 准教授）



専門は、社会的企業論／社会起業家論・コミュニティデザイン論・ソーシャルビジネス論。四万十町地域イノベーター養成講座や四万十町チャレンジアワードなど、四万十町の人材育成事業をサポート。2018年2月中小企業庁・創業機運醸成賞受賞（「マイプロジェクト手法を活用した学生向けの起業・新規事業開発支援」）

事務局

四万十町役場人材育成推進センター
（担当：中井智之・吉村愛）

〒786-0008
高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

E-mail：103060@town.shimanto.lg.jp

TEL：0880-22-3163
FAX：0880-22-3345

テーマ

第1回

「地域ビジネスの始め方を学ぶ
—自分の想いと地域課題を見つけ、
課題解決に向けたアイデアを描く」

内容

地域ビジネスは、一人ひとりの強い想い（原体験、好き・嫌い）の存在と、身の回りにある困りごとや悩み事、解決したい地域課題を特定することが大事になります。ここでは、自分の好き嫌いを見つめ直し、身の回りにある地域の課題を洗い出し、それらを起点に取り組んでみたい地域ビジネスのアイデアの描き方を学びます。

第2回

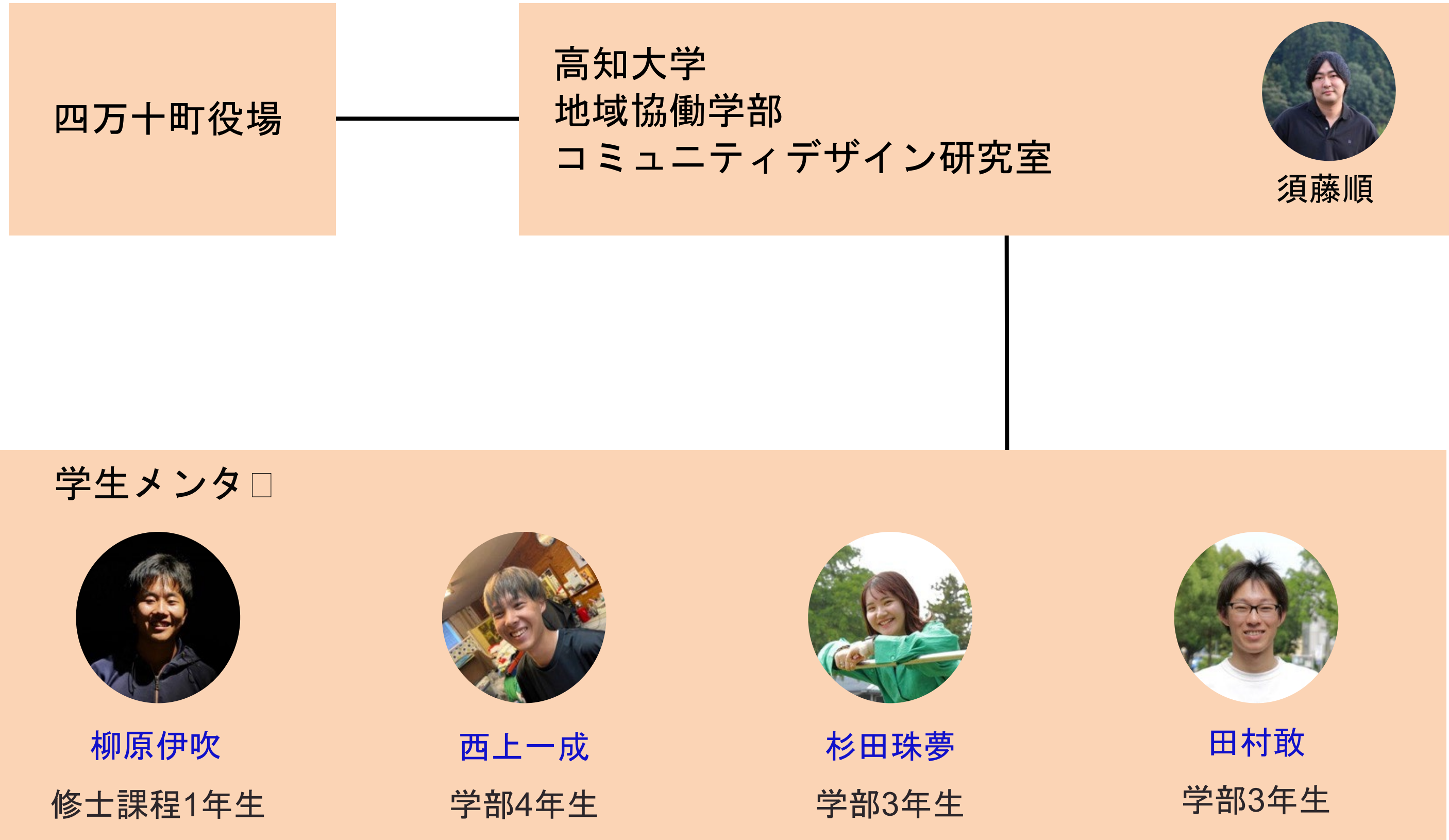
「顧客と課題を定義し、
アイデアをカタチにし、テストする
—ユーザーリサーチの方法を学ぶ」

自分たちが救いたい顧客(ペルソナ)は誰なのかを具体化し、その顧客がまだ気づいていない本当に解決してほしい潜在的な課題を特定するための方法を学びます。そのうえで、第1回で描いたアイデアの修正を行い、必要最低限の要件を備えた試作品（プロトタイプ）を作成し、アイデアの検証に向けた確認事項を明らかにしていきます。

第3回

「ビジネスモデルの構築と実現に向けたアクションプランを策定する
—持続可能なビジネスモデルを設計し、協力体制を築く」

持続可能な事業として展開できる「ビジネスモデル＝誰に何を提供し、どうお金得るか」を構築し、図解します。そのうえで、実現に向けたアクションプランを考え、地域の人、組織とどのような協力を引き出すことが必要か整理していきます。



目の前にある様々な困りごとを一人ひとりが捉え、
課題の解決を目指す地域ビジネスの
アイデアを事業にするための一連のプロセスを
学ぶことで、事業アイデアの具現化を目指す。

- ① 自分の想いと地域課題を見つけ、それを解決するための地域ビジネスを学ぶ
- ② 持続可能なビジネスプランを設計し、協力体制を築く

講座の様子



最初にチェックインとして「名前/今の気持ち/どのような事を学びたいのか」について一人ずつ共有を行った。講座初回という事もあり、全体に少し緊張した様子で自己紹介が行われた。明確に行いたい事業を考えている受講生もいれば、現段階では具体的なビジネスについては何も考えていないという受講生もあり、それぞれ目的を持ち講座に前向きに取り組もうとする様子が見られた。



はじめての挨拶を行う須藤



チェックインの方法を共有する様子



チェックインを行う受講生



チェックインを行う受講生

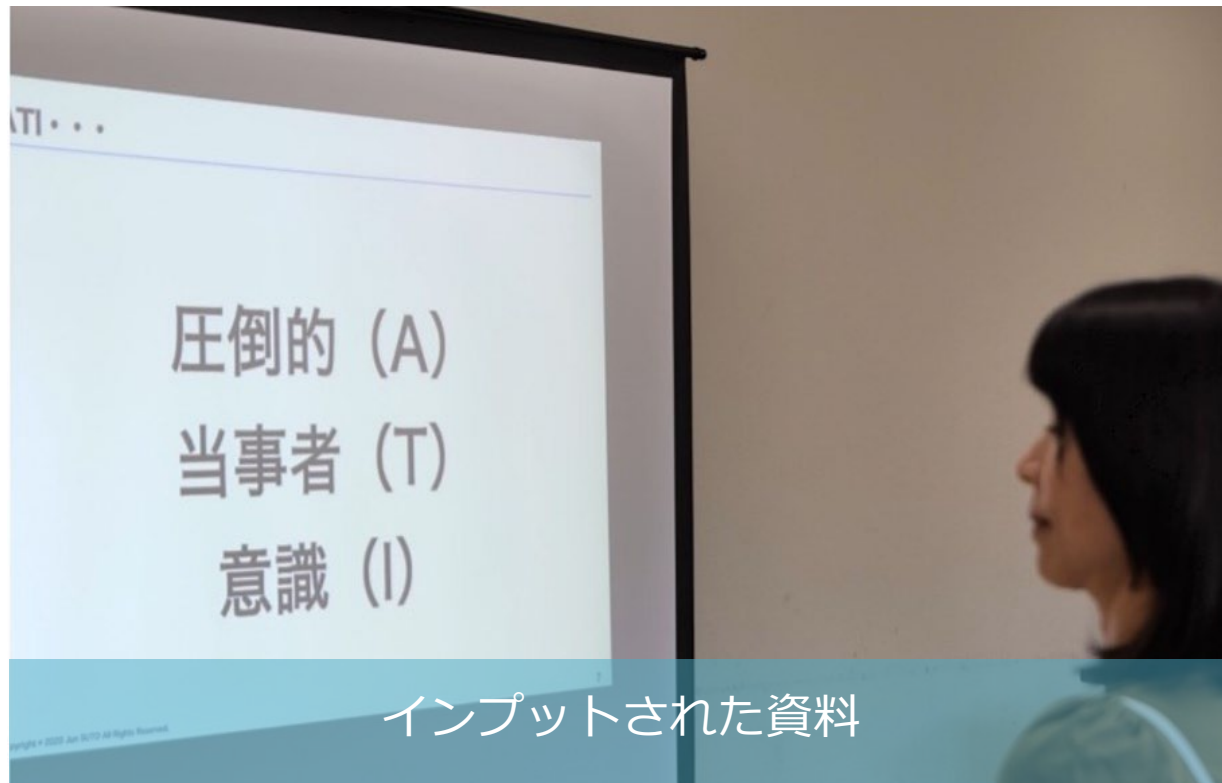


自己紹介を行う学生メンター



吉村氏による講座開始の挨拶

チェックイン後、ワークの実施前に須藤より地域ビジネスに取り組む際に重要となる「圧倒的当事者意識」、優れた起業家の思考様式/行動様式として注目される「エフェクチュエーション」といった視点についてインプットが行われた。そのうえで、事業の取り組む原体験を掘り下げ、自分自身を正しく理解することを目的に、①自分の関心事、②ライフラインの作成に取り組んだ。自分の現在の状況やこれまでを振り返っている中では、「思ったより自分のやりたいことができていない」「人生振り返ると意外とやりたいことができていない」など自分自身について再確認する時間となった。



インプットされた資料



インプットを聞く受講生



自分の関心事を書き出す受講生



関心事について共有する受講生



ライフラインの例を共有する須藤



ライフラインを作成する受講生

マインドセットの確認後、具体的な事業を考えていくためのワークが行われた。インプットとして制服リユースに取り組む「さくらや」の事例が紹介された。事例から地域ビジネスの重要な点についてメモを取る受講生の様子が印象的であった。事例紹介後、Will, Can, Mustについて確認するワークに取り組んだ。受講生はWill（やりたいこと）, Can（できること）, Must（やらないといけないこと）をシートに書き起こした。取り組む中で「Mustが多くてWillをあまり考えられてなかった」「Willはたくさんあるけど手がつけられていない」などの声が聞かれた。



インプットを行う須藤



さくらやの事例を見る受講生



Will Can Mustを書く受講生



Will Can Mustを書く受講生



ワークの説明を聞く受講生



自身のシートを共有する受講生

課題発見ワークショップ/アイデアづくりワークショップ

第一回

地域課題の洗い出しを目的として課題発見ワークショップに取り組んだ。洗い出しシートを活用して地域の本質的な課題について書き出した。最初は書けるものの次第に「これ以上考えられない」「具体的なものになってきた」など洗い出しを通して具体的な内容が書き出される様子が見られた。次に自分自身と紐づいた地域課題解決につながる事業アイデアを検討した。まず、スピードストーミングとして地域課題解決のアイデアを受講生同士で意見交換した。その後アイデアシートの作成を行い、描かれたアイデアの中から良案抽出を行い、今後セミナー内で取り組む4つのアイデアを選定した。



地域課題の洗い出しに取り組む受講生



スピードストーミングをする受講生の様子



アイデアシートを記入する受講生



他の受講生のアイデアを見て回る様子



受講生の発表を聞く様子



自分のアイデアを発表する受講生

問い合わせ先

四万十町役場人材育成推進センター

担当：中井智之・吉村愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

E-mail : 103060@town.shimanto.lg.jp

TEL : 0880-22-3163 FAX : 0880-22-3345

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL : 088-788-8077 FAX : 088-888-8043

E-mail : j.suto@kochi-u.ac.jp

Web : <https://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。